

だれのこどもも ころさせない

ママだけでなく、この言葉に共感した個人一人ひとりが
国境を超えて繋がれるのではないかと思います。



プロフィール：西郷南海子(さいごうみなこ)
1987年生まれ、3児の母。
2015年に安保関連法に反対する
ママの会を立ち上げ、全国のママ
たちと「だれのこどももころさせない」
を合言葉に活動中。
現在、京都大学教育学研究科
博士後期課程2年生。

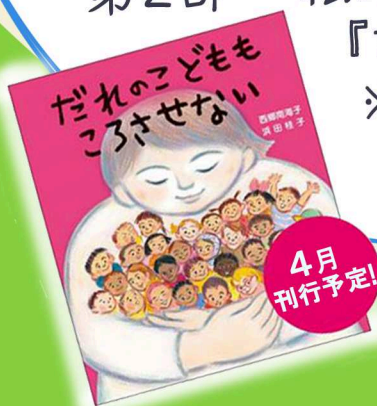
入場無料・託児有(要予約)

とき：2017年 **5月3日** (憲法記念日)
午後 **1時30分** (開場午後1時)

ところ：大垣市情報工房
5階 スィンクホール

第1部 講演 **西郷南海子さん**
(「安保関連法案に反対するママの会」発起人)

第2部 絵本朗読
『だれのこどももころさせない』
※ママパパの交流あり



西濃憲法集会2017 呼びかけ

今年は、日本国憲法が施行されてから70年になります。憲法は、私たちが様々な活動を行うときに、大切な拠り所となってきました。しかし、今、この大切な憲法が危機に瀕しています。

安倍政権は、2015年には国会で強行採決を行って安全保障法制という名前の戦争法案を成立させ、憲法の平和主義をないがしろにしました。そして、2016年夏の参議院選挙の結果、いわゆる「改憲勢力」が衆参両院で3分の2以上を占めたことから、憲法改正の発議ができる状態になっています。憲法改正国民投票はいつ行われてもおかしくない状況です。

しかしながら、戦争法案に反対する運動の広がり、とりわけ女性や若者への広がりや、その後の市民連合・野党共闘の取り組みには、希望を感じます。憲法を拠り所とした活動であり、合言葉は「民主主義って何だ」「立憲主義を取り戻す」です。

グローバリズム、新自由主義の蔓延によって、世界中の至るところで格差と貧困が広がり、社会に分断が起こっています。日本社会も例外ではなく、特に子どもや若者の貧困は深刻です。世界は第2次大戦前夜に似た状況にあるとの指摘もあります。分断を乗り越え、「政府の行為によって再び戦争の惨禍」が起こることのないようにするために、私たち一人ひとりの行動が求められています。

西濃憲法集会2017にぜひご参加下さい。

プレ企画

■ようこそ先輩平和課外授業14年目

ピース・リーディング（朗読劇）「9条が好きと言えなくなって…」
とき：2017年4月15日（土）午前10時30分～（10時15分受付）
ところ：アクアウォーク大垣2階アクアホール（市民ホール）
（アピタ西エレベーターを出て右手奥 大垣駅北口徒歩7分）

■記念講演 『大垣警察市民監視事件から見える共謀罪の現実』

講師 山田秀樹弁護士（弁護士法人ぎふコラボ）
とき：2017年4月22日（土）午後2時～午後4時30分
ところ：スイトピアセンター かがやき活動室6-1
（大垣市室本町5-51 TEL：0584-74-6050）

協賛金ご協力をお願い

西濃憲法集会2017の成功のために、協賛金のご協力をお願いします。
（ゆうちょ銀行振替口座 00870-6-101487 加入者名：近藤ゆり子）



大垣市情報工房

大垣市小野4-35-10
TEL: 0584-75-7000
URL: <http://www.johokobo.com/>

※国道21号線と合ICから約2分
名神高速道路大垣西ICから約15分
JR大垣駅から約5分

※バスで約10分（片道運賃210円）
JR大垣駅南口 3番乗り場
ソフトピア線・羽島線
（「ソフトピアジャパン」バス停で下車）

